

環境保全型ビジネス

◆◆◆ 方針・考え方 ◆◆◆

●再生可能エネルギーのさらなる開発・活用

当社グループは、「低炭素」のリーディングカンパニーとして、2030年代に国内外で再生可能エネルギー電源の設備容量600万kWを目標に、200万kW以上の新規開発に向けて取り組んでいます。

国内については、既設水力発電所の出力向上や、太陽光発電、陸上風力発電、洋上風力発電、バイオマス発電、地熱発電の開発に取り組み、2020年3月末時点で、約346万kWの運転開始を公表しています。FIT制度の抜本的な見直しの動向を注視しつつ、開発中案件の着実な事業化を進めるとともに、FITからの自立化を見据え、発電コストの低減にたゆまず挑戦しながら、地域へ貢献し、開発・獲得した電源を継続的に運転し続けることで、わが国の電力の低炭素化に貢献していきます。

また、海外についても、これまでに培った技術力や経験を活用し、再生可能エネルギー事業の拡大をめざしています。

さらに、こうした取り組みを通じて得られた知見を活用して、グローバルな社会課題（SDGs）の解決に貢献しています。

●グループ会社の環境事業

当社グループでは、各社が持つ技術力とグループ全体の経営資源を活かし、さまざまな環境ビジネスを展開しています。

●お客さま・社会のニーズに応じたエネルギーサービスの提供

お客さまの環境価値に対するニーズが年々拡大していることを踏まえ、当社グループは「低炭素」のリーディングカンパニーとして、再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組むとともに、お客さまと社会のお役に立つサービスを積極的に拡充しています。

◆◆◆ 目 標 ◆◆◆

●CO₂排出抑制取組の推進

- ・CO₂フリー発電量国内№1
- ・2030年度に当社グループの国内発電事業に伴うCO₂排出量半減（2013年度比）

●再生可能エネルギーのさらなる開発・活用

- ・2030年代に設備容量600万kW（国内外での新規開発200万kW以上）

◆◆◆ 取組み ◆◆◆

●国内における2019年度の開発状況

当社グループは、2019年9月に熊本県阿蘇郡において、地熱発電事業の開発や運営をおこなっている「ふるさと熱電株式会社」へ出資参画することとしました。また、秋田県秋田港および能代港において、丸紅株式会社が設立した秋田洋上風力発電株式会社に2016年7月27日に投資参画し、共同事業実施者※とともに開発可能性調査を実施しており、2020年2月に、事業化決定に至りました。

※丸紅株式会社、株式会社大林組、東北自然エネルギー株式会社、コスモエコパワー株式会社、中部電力株式会社、株式会社秋田銀行、大森建設株式会社、株式会社沢木組、協和石油株式会社、株式会社加藤建設、株式会社寒風、三共株式会社

●海外電力事業における再生可能エネルギー電源の拡大

当社グループの海外電力事業において、再生可能エネルギー事業のプロジェクト参画数は9件、持分容量の合計は約95万kW※へ成長し、海外において再生可能エネルギー電源が占める割合は約3分の1となりました。 ※2020年7月末時点。商業運転前の参画プロジェクトを含む。



ラオス・ナムニアップ1水力発電所



米国・アビエータ陸上風力発電プロジェクト

◆国内外の運転開始（竣工済）案件の再エネ設備持分容量 388.5万kW（2019年度末時点）

●【グループ会社の環境事業】

関電ファシリティーズ(株)が、省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門審査委員会特別賞を受賞

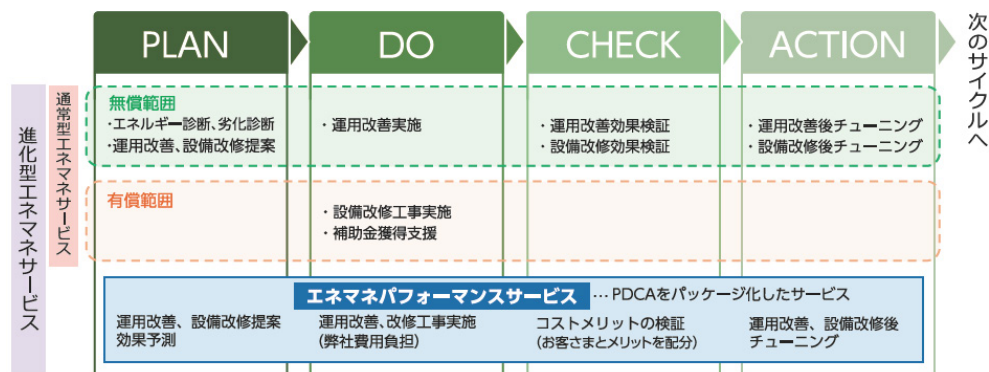
関電ファシリティーズ(株)は、設備ライフサイクル・エネルギーマネジメントサービスによる業務分野の省エネ普及促進に対して、一般財団法人省エネルギーセンターより、『2019年度 省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門 審査委員会特別賞』を受賞しました。

評価の対象となったエネルギーマネジメントサービスは、省エネ活動のPDCAをサポートする通常型のエネマネサービスに加え、同社の費用負担で省エネ・節電を促進する設備を付加し、エネルギー費用削減分をお客さまと配分するエネマネパフォーマンスサービスを追加した、進化型エネマネサービスです。

日常のエネルギー消費や設備状況を把握しているビル管理会社が、設備ライフサイクルを通してお客さまの省エネ活動のPDCAをサポートするサービスとして、省エネ推進への実効性が期待されています。

これからもエネルギーマネジメント技術を磨き、お客さま資産価値のさらなる向上をめざしていきます。

◆エネルギーマネジメントサービスの全体像



授賞式

●パフォーマンスデータ

再生可能エネルギーの開発・普及(連結)		単位	2017年度	2018年度	2019年度
再生可能エネルギーの開発・普及	運転開始(竣工済) 案件	万kW	※	372.46	388.58
	現在取組中の案件		※	66.14	54.02
	累計設備容量		※	438.60	442.60
・太陽光発電		万kW	※	8.17	8.17
・風力発電		万kW	※	30.40	30.95
・水力発電		万kW	※	374.36	377.80
・バイオマス発電		万kW	※	25.67	25.67
・地熱発電		万kW	※	—	0.01

※ 2019年に策定した「関西電力グループ中期経営計画(2019-2021)」に合わせて、「2030年代に設備容量600万kW(国内外での新規開発200万kW以上)」に目標が変わったため、2018年度以降の実績について開示。